令和５年度　国語科　年間指導計画　第６学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	気持ちよく対話を続けよう	2	相手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，対話を続けていくことができる。	
		原因と結果に着目しよう	2	原因と結果の関係を把握して，目的に応じて書くことができる。	
		○朗読で表現しよう「サボテンの花／生きる」	4	自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読することができる。	
		図書館へ行こう	2	地域の図書館や社会教育施設の使い方を知り，必要なときに活用することができる。	
		○筆者の論の進め方を確かめよう「イースター島にはなぜ森林がないのか」	7	文章の構成や事例を捉え，筆者の論の進め方についての考えをまとめることができる。	理科
	5	さまざまな熟語	2	三字以上の熟語の構成について理解することができる。	
		友達の意見を聞いて考えよう	4	他の人の意見と自分の意見を比較して，自分の考えをまとめることができる。	
	6	防災ポスターを作ろう	7	読み手の興味を引くような表現の効果を考えて，書き表し方を工夫することができる。	社会，保健
		○人物どうしの関係を考えよう「風切るつばさ」	7	人物どうしの関係を手がかりに，人物の心情を考えながら読むことができる。	
		複合語	2	複合語の構成と特徴について理解することができる。	
		○インターネットの議論を考えよう「インターネットの投稿を読み比べよう」	7	複数の文章を読み比べて，それぞれの説得の工夫を読み取ることができる。	
	7	本は友達	2	読書の意義を知り，自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。	
	8	○詩を読もう「いま始まる新しいいま」	1	詩を読み味わい，感じたことや考えたことを友達と伝え合い，自分の考えをまとめることができる。	
	8·9	話し合って考えを深めよう	6	互いの意見を分類したり整理したりして，計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりすることができる。	
	9・10	場面に応じた言葉づかい	3	相手や場面に応じた言葉遣いを理解し，適した言葉を選んで使うことができる。	
		○物語を読んで、考えたことを伝え合おう「海のいのち」	10	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考え，考えたことを文章にまとめることができる。	
後期	10	漢文に親しむ	3	漢文を音読し，言葉の響きやリズムなどに親しむことができる。	
		文と文とのつながり	2	接続語句や文末表現などに注目し，文と文との接続の関係を捉えることができる。	
	10·11	○町の未来をえがこう「町の幸福論ーコミュニティデザインを考える」	14	複数の資料を読み，必要な情報を関係付けながら，それらを目的に応じて活用することができる。自分の考えを伝えるために，構成を工夫したり資料を活用したりするなどの工夫をして発表することができる。	社会
	11	世界に向けて意見文を書こう	7	事実と感想、意見を区別して書き，説得力を持つように書き表し方の工夫をして文章を書くことができる。	社会
	11·12	○関連する作品を読んで、すいせんしよう「ヒロシマのうた」	8	戦争や平和について書かれた作品を読み，それらを関連付けて自分の考えを深めることができる。	社会
	12	読書とわたし	2	これまでの読書生活を振り返り，自分と読書との関係を捉え直し，読書生活を豊かにすることができる。	
	1	いにしえの言葉に学ぶ	3	昔の人のものの見方や考え方を知り，それを，現代に生きる自分たちと結び付けて考えることができる。	
		表現をくふうする	2	比喩や反復，倒置などの表現の工夫について理解することができる。	
		心が動いたことを十七音で表そう	4	生活の中から題材を選び，言葉の選択や順序を工夫して，発見や感動を俳句で表すことができる。	
	1・2	○さまざまな生き方について考えよう「プロフェッショナルたち」	8	文章を読んで，そこに書かれた人物の生き方や考え方から，自分の将来や生き方について考えることができる。	特別の教科　道徳
	2	言葉の学習をふり返る	4	これまでの言葉の学習を確かめながら，よりよい表現の工夫について考えて，活用することができる。	
		「卒業文集」を作ろう	6	小学校６年間の経験を振り返り，伝えたい思いや考えを文章にまとめることができる。	
	2・3	聞いてほしい、この思い	5	自分の思いが伝わるように，聞き手の興味・関心に応じて表現を工夫し，話の構成を考えて話すことができる。	
	3	○未来に向かって「君たちに伝えたいこと／春に」	4	文章と詩を読んで，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	
年間授業時数			140		